

特 許 協 力 条 約


P C T

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)
〔PCT36条及びPCT規則70〕

出願人又は代理人 の書類記号 02S0153P	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知（様式PCT/ IPEA/416）を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JPO2/01841	国際出願日 (日.月.年) 28.02.02	優先日 (日.月.年) 28.02.01
国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷ G02B21/06, G02B21/00, G02B21/26, G02B21/36, G01B11/02		
出願人 (氏名又は名称) オリンパス光学工業株式会社		

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 5 ページからなる。 <input checked="" type="checkbox"/> この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面も添付されている。 (PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照) この附属書類は、全部で 9 ページである。
3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。 I <input checked="" type="checkbox"/> 国際予備審査報告の基礎 II <input type="checkbox"/> 優先権 III <input type="checkbox"/> 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 IV <input type="checkbox"/> 発明の単一性の欠如 V <input checked="" type="checkbox"/> PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 VI <input type="checkbox"/> ある種の引用文献 VII <input type="checkbox"/> 国際出願の不備 VIII <input checked="" type="checkbox"/> 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 25.09.02	国際予備審査報告を作成した日 13.05.03	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 山村 浩 	2V 9219 電話番号 03-3581-1101 内線 3271

I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に
応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。
PCT規則70.16, 70.17)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書 第 2-23, 25 ページ、 出願時に提出されたもの
明細書 第 _____ ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
明細書 第 1, 24, 26 ページ、 20.03.03 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 請求の範囲 第 _____ 項、 出願時に提出されたもの
請求の範囲 第 _____ 項、 PCT19条の規定に基づき補正されたもの
請求の範囲 第 _____ 項、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
請求の範囲 第 11-15 項、 20.03.03 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 図面 第 1/10-8/10, 10/10 ページ/図、 出願時に提出されたもの
図面 第 _____ ページ/図、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
図面 第 9/10 ページ/図、 20.03.03 付の書簡と共に提出されたもの

☐ 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、 出願時に提出されたもの
明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、 _____ 付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である _____ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語
☐ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☒ 請求の範囲 第 1-8, 10 項
☐ 図面 図面の第 _____ ページ/図

5. ☒ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならない、本報告に添付する。)

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)

請求の範囲	11-15	有
請求の範囲		無

進歩性(IS)

請求の範囲	11-15	有
請求の範囲		無

産業上の利用可能性(IA)

請求の範囲	11-15	有
請求の範囲		無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: JP 10-300442 A (株式会社高岳製作所) 1998. 11. 13
文献2: JP 6-34345 A (キャノン株式会社) 1994. 02. 08
文献3: JP 2001-21330 A (戸塚忠男) 2001. 01. 26
文献4: JP 9-5046 A (株式会社高岳製作所) 1997. 01. 10
文献5: JP 9-68413 A (オリンパス光学工業株式会社) 1997. 03. 11

請求の範囲11~15に係る発明は、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとっても自明なものでもない。

Ⅶ. 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

請求の範囲 1 2 の「高NAの低倍対物レンズ」という用語はその定義が明確ではない。

補充欄 (いずれかの欄の大きさが足りない場合に使用すること)

第 I 欄の続き

(1) 20.03.03 付け手続補正書について

請求の範囲 9 について、「前記光軸方向の複数の位置における前記セクショニング像に基づいて所定の関数により合焦位置を求めることと、」という記載が削除されているが、当初請求の範囲、明細書、図面には、当該削除がなされたものが記載されているわけではなく、しかも、当該削除がなされたものを直接的かつ一義的に導き出すこともできないから、新規事項の追加にあたる。明細書第 6 頁についても同様である。

明細書第 7 頁～第 8 頁について、第 7 頁の第 11 行の「第 2 局面において・・・」以降の記載は、当初請求の範囲、明細書、図面には記載されておらず、しかも、直接的かつ一義的に導き出すこともできないから、新規事項の追加にあたる。当初明細書第 24 頁には、画像の枚数等が適宜である旨の記載があるが、これらの記載があるからといって、補正後の記載のように「下記の実施態様は、独立で適用しても良いし、適宜組み合わせ適用しても良い」とまで当初明細書等に記載してあったとはいえない。

(2) 国際予備審査の請求書と共に提出された手続補正書について

補正後の請求項 9 については、明細書中の記載をいわば断片的に付加したものであって、かかる付加を行えることが直接的かつ一義的には導き出せないので、国際出願時の開示の範囲内を越えている。